海外安全対策情報
【定期報告：４月～６月】

在ケープタウン領事事務所

１　西ケープ州における犯罪傾向

（１）観光客を狙った犯罪が多様化，巧妙化しているため引き続き注意が必要である。

（２）在ケープタウン領事事務所管轄地域の２０１５年４月～６月における邦人に対する被害の報告件数は３件であった。

２　殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

（１）殺人

ア　邦人被害者情報なし。

イ　６月２０日，ケープタウン市ロングストリートにある酒場の男性ドアマンが突然何者かに刺され殺害された。ロングストリートは観光地，また若者のナイトスポットとして人気のエリアである。

（２）強盗

邦人被害

ア　邦人被害者情報なし。

その他の被害事件

イ　邦人被害者情報なし。

（３）強姦

ア　邦人被害者情報なし。

（４）その他

ア　４月１１日午後６時頃，ケープタウン市ケニルワースにある大型ショッピング施設でシェフの姿に変装をした男が宝石店に立ち入り，同店の貴金属類を拳銃で脅し強奪した。同地域では昨今犯罪率が上昇していることが問題になっている。

イ　４月１３日早朝，ケープタウン市のトカイ，ウエストレイク，スティーンバーグエリアにおいてミニバスドライバーによる大規模な違法道路封鎖が起きた。原因はミニバス同士の縄張り争いで，各地で抗争は激化しており，死傷者も出た。

ウ　４月２２日未明，西ケープ州セレス市にあるキャンプ場で邦人旅行客が停めていた自

転車盗難被害に遭った。

エ　４月２５日午後１時３０分頃，ケープタウン市ロングストリートの路上で，邦人男性が黒人に金を出さないと顔を切りつけると脅され，邦人男性は所持していた現金を奪われた。邦人男性に怪我はなかった。

オ　４月２６日午後５時４５分頃，邦人男性がケープタウン市ビジネス街地区にある路上ＡＴＭで現金を引き下ろそうとしていたところ背後から３人の男に取り囲まれ，クレジットカードを奪われた。邦人男性に怪我はなかった。

カ　４月２８日午前１１時頃，ケープタウン市プラムステッドを巡回中の商用車が荷物を店先で詰め込みをしている際に３人の黒人の男に囲まれ，車輌と積んであった荷物を奪われた。犯人らは翌日逮捕された。

キ　５月６日，ケープタウン市ビジネス街地区において，公務員労働組合（SAMWU: South African Municipal Workers Union）による大規模な合法の賃上げ要求の行進が行われた。その際に一部の参加者らが当初予定されていたルートを警察の制止に関わらず外れ，車の窓ガラスを割る，ゴミなどをまき散らす，鈍器を振り回すなどし暴徒化した。警察が４発スタングレネードを投げ込み事態は沈静化した。

ク　５月２５日，ケープタウンメトロレールで昼間に電車に乗っていた女性が，黒人男性に刃物を突きつけられ持っていた財布，携帯などの貴重品類を奪われた。

ケ　６月８日から１０日にかけケープタウン市クレアモント及びコンスタンシアで同一犯とみられる連続強盗事件が起きた。２人と見られる犯人は道に迷ったふりなどをして車で歩行者に近づき，凶器で歩行者の所持品を奪うという手口である。被害者も既に複数名いると報じられている。

コ　６月１２日，ケープタウン市シーポイントで３人組の男らが車のリモートキーの電波をジャミングし，車輌を奪おうとしていたところを現行犯逮捕された。

サ　６月２１日午後３時半頃，ケープタウン市ハウトベイの登山道（Skoorsteenkop）でハイキングをしていた４人グループの登山客が２人組の強盗にナイフを突きつけられ所持品を奪われた。同エリアを管轄するテーブルマウンテン国立公園は今年の初めに約１０００万ランドを国立公園の警備費等に投資している。

３　テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

４　誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

５　対日感情

概ね良好ではある。なお，クワズールナタール州ダーバン市を発端とした外国人排斥運動（注：主対象は他アフリカ諸国からの労働者・避難民）が３月末に発生し，邦人社会にも少なからず驚異になったが，現在は沈静化している。なお，西ケープ州では同排斥運動に関する大きな事件は起きなかった。

６　日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

７　日本人安全対策のためにとった具体的措置

（１）在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも，安全対策に役立つ情報を当事務所より「領事事務所からのお知らせ」としてメールを発出し，在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

（２）その他の措置

常日頃より，当地在住の邦人等との意見交換を行い，当地での生活の安全情報の収集に努めている。